

アプリのダウンロード
はこちら（完全無料）



※2023年11月22日時点
iOSのみ対応

顔分析技術による
産後ケアアプリを用いた、
育休復帰に向けた
心身リカバリーの実証

(株)ポーラ



m a m a n i e r e

by **POLA**

育休中の適切な産後ケア介入による、復職に向けた心身状態のリカバリーに向けたサポート事業 (オンライン・オフライン双方の適切な介入による産後ケア支援の効果測定)

実施体制

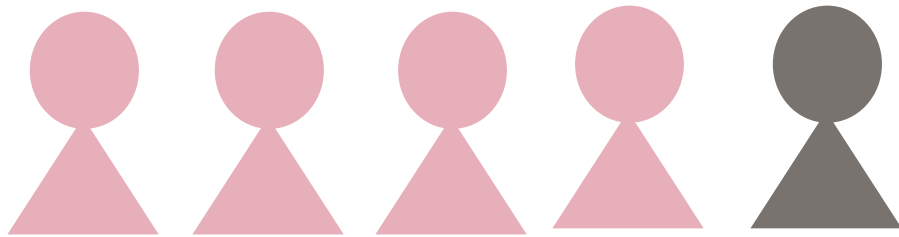


事業目的

女性、特に産後女性の心身の不調・復職に向けた社会課題の解決を目指すため

育休復帰を見据え過ごす大事な産後の時期に、産後女性の大多数が心身の不調を訴えているにもかかわらず、心身リカバリーのケアや、サポート体制は依然として十分ではありません。
産後は自分に使える時間が激減するため、自分のケアがほとんどできず、復職時期に向けリカバリーをしなければというプレッシャーや心身の不安など大きな課題を抱えていることも明らかになっています。
私達は復職予定にある育児休業中の勤労女性への心身にわたる効果的な支援方法構築をしていくことで、産後のQOL向上とともに、復職に向けたキャリア支援を行っていきます

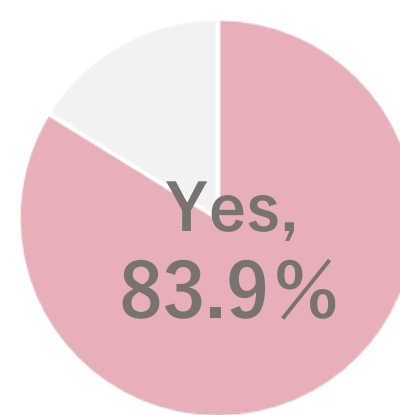
5人のうち4人が育休中



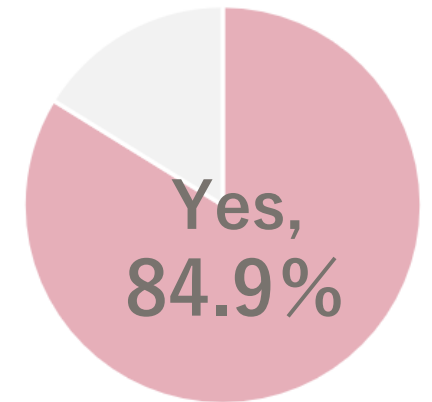
日本の産後女性は、育休中の方が85.1%

※厚生労働省の「2021年度雇用均等基本調査」

妊娠前に比べて、
大多数が心身の不調を訴えている



体の状態が不調



心の状態が不調

※弊社で実施した産後ママに対する独自調査の結果
n=179

産後ケアアプリ「mamaniere（ママニエール）」概要

産後の今のあなたにぴったりのケアや情報を、顔分析から提案！
ママ1人1人「今のあなた」へ贈る、産後ケアアプリ

m a m a n i e r e



m a m a n i e r e とは

顔写真と簡単な質問で
産後ママの“今”の
心とからだの状態を分析

分析結果に基づいた
最適な情報をご提案！

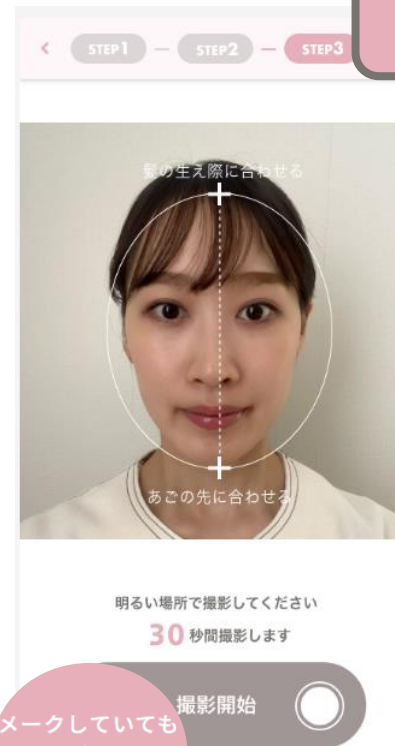
限定クーポンがもらえる！

POLA

Point

独自の顔分析技術を活用し、
産後の“今”の心とからだの状態を分析

数値化できるので
シェア可能！
→ヘルプも出しやすい！



メイクしていても
すっぴんでも
分析可能！

あなたのアクティブパワーは **70** %
心身は穏やかな状態で、余力はややありますが、
不調の芽を見つけたら、ひとやすみ。



産後8カ月は赤ちゃんの成長も個体差があるなど、
育児や自身のことなど悩みも増える時期です。

ご自身の状態を把握し、
適切なケア方法を見つけましょう。

あなたのための
マッチング結果を見る

SNSで結果をシェア



からだの状態 ①

今、現時点のあなたの体はややぐったりして
いる様子がみられます。

ケア方法をチェック

自律神経バランス ②



自律神経バランスは交感神経・副交感神経が
均衡な状態です。

ケア方法をチェック

心拍数 ③



よりも心拍数が高いです

ケア方法をチェック

客観的な
分析内容を
パパや家族に
シェア可能！

実施項目・目標

ポーラの独自技術である「顔分析技術」を搭載したアプリ、ママニエールを中核に置き、外部パートナーと共にトータル的な産後ケアの実証実験を実施。
分析データを同志社女子大学 和泉准教授にサポートいただき、検証。

実施事項	対象ユーザー	実施項目	定量的指標(KPI)
オンラインでの産後ケアの実施、効果測定 (ポーラ・cotree)	・産後女性 (育休中)	・オンラインカウンセリング希望の育休中女性を100名リクルート ・ユーザーに対して、オンラインカウンセリングの実施（離脱者を加味し、N=50を目標） ・オンラインカウンセリングの前後でママニエールにて測定	・介入前後の比較でのストレス指標の軽減 ・オンラインカウンセリングでの実施前後のメンタルヘルス状態の向上 ・復職に向けた不安の改善
オフラインでの産後ケアの実施、効果測定 (ポーラ・一般社団法人クレイドル)	・産後女性 (育休中)	・産後ケア希望の育休中女性を25名リクルート ・ユーザーに対して、産後デイケアの実施（離脱者を加味し、N=20を目標） ・産後デイケア前後でママニエールにて測定	・介入前後の比較でのストレス指標の軽減 ・事前分析に基づく、デイケアプログラム実施において、実施前後のメンタルヘルス状態の向上、身体的不調の緩和 ・復職に向けた、心身リカバリーへの改善
効果測定の包括的分析 (ポーラ、同志社女子大)	・産後女性 (育休中)	・学会発表に向けた準備（倫理審査委員会へ計画書提出） ・効果測定の分析	・倫理審査委員会での審査通過 ・効果測定の分析結果から、示唆を出す

成果と分析結果【リクルート】

想定以上の応募・反響があり、育休中の産後ケアが強く求められていることが明確に。
また、ユーザーのポストから「産後ケアの実施期間」「産後ケアの地域差」の課題が浮き彫りに。

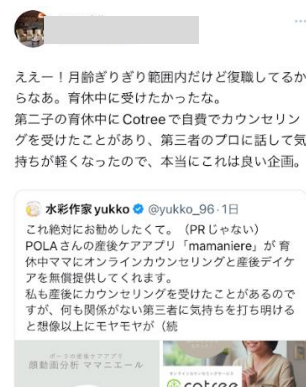
◆リクルート

産休中、かつ育休中でのというピンポイントな属性へのリクルート。また、産後という大変な時期での参加はハードルが高いと想定された

目標125名に対し、717名の応募！
目標比530%



「自分が育休中だったら絶対応募していた」
「産後へのサポートは通常産後4か月ぐらいまででばたっとなくなるので、24か月まで対象なのが本当にありがたい」
「自分が住んでいる自治体でもこのように手厚いサポートがあったらいいのに」

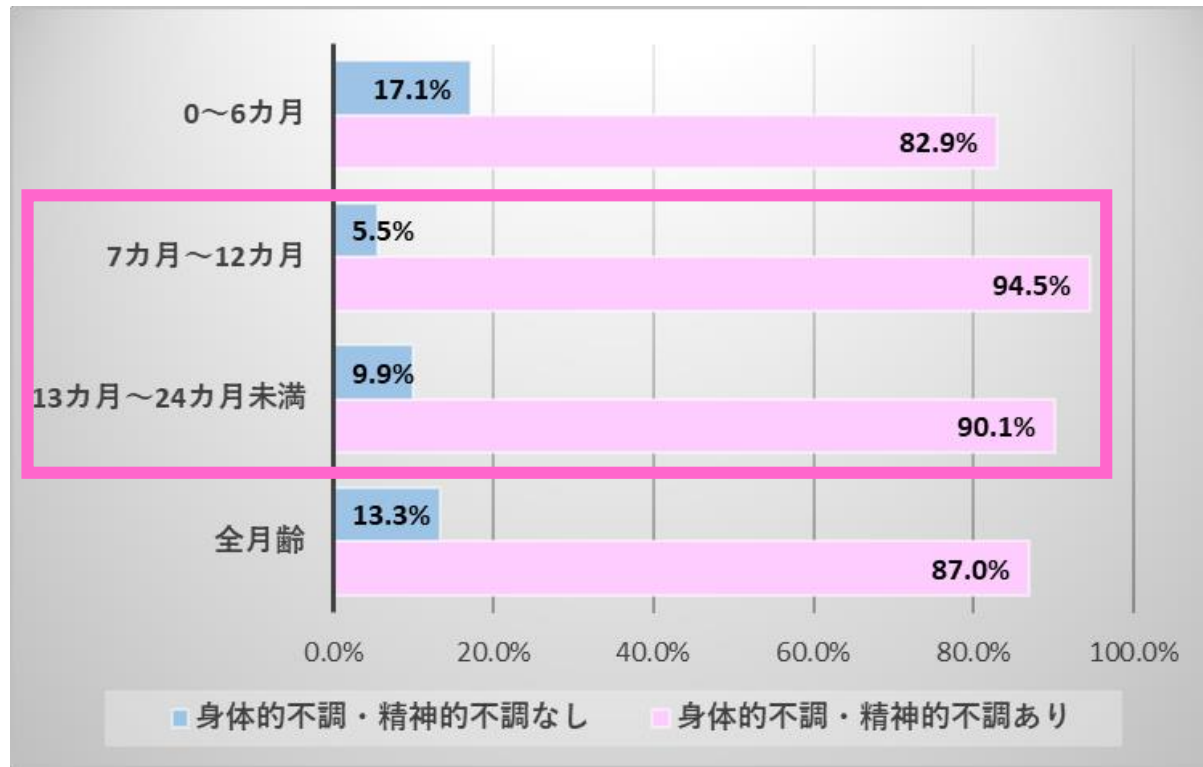


広告等を実施せず、46.1万view！

成果と分析結果【産後女性の心身状態】

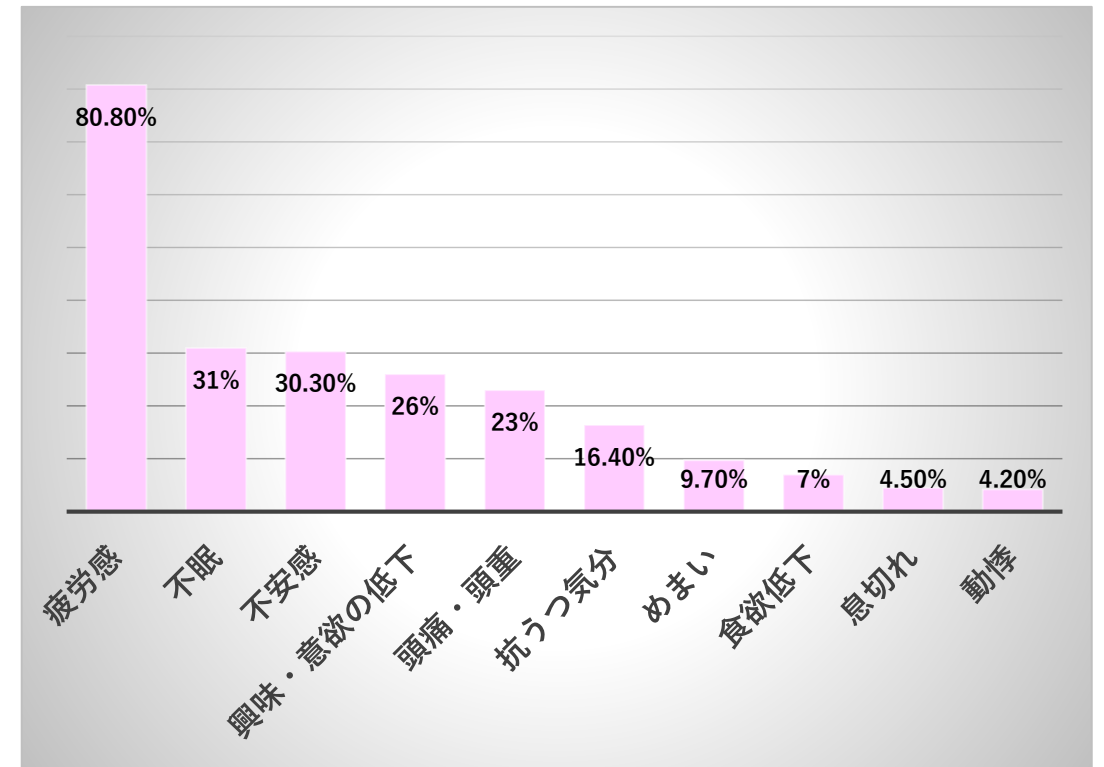
産後女性の87%が身体的不調・精神的な不調を抱えており、
産後からの経過月で比較した際、産後直後よりも、産後から経過したタイミングの方が
身体的不調・精神的な不調を抱える割合が増えた

〈産後女性の心身状態の産後経過月での比較〉



n = 717 (産後ケア実証参加希望者)

〈現在の自覚症状について当てはまるもの（全月齢）〉



n = 717 (産後ケア実証参加希望者)

成果と分析結果【産後デイケア】

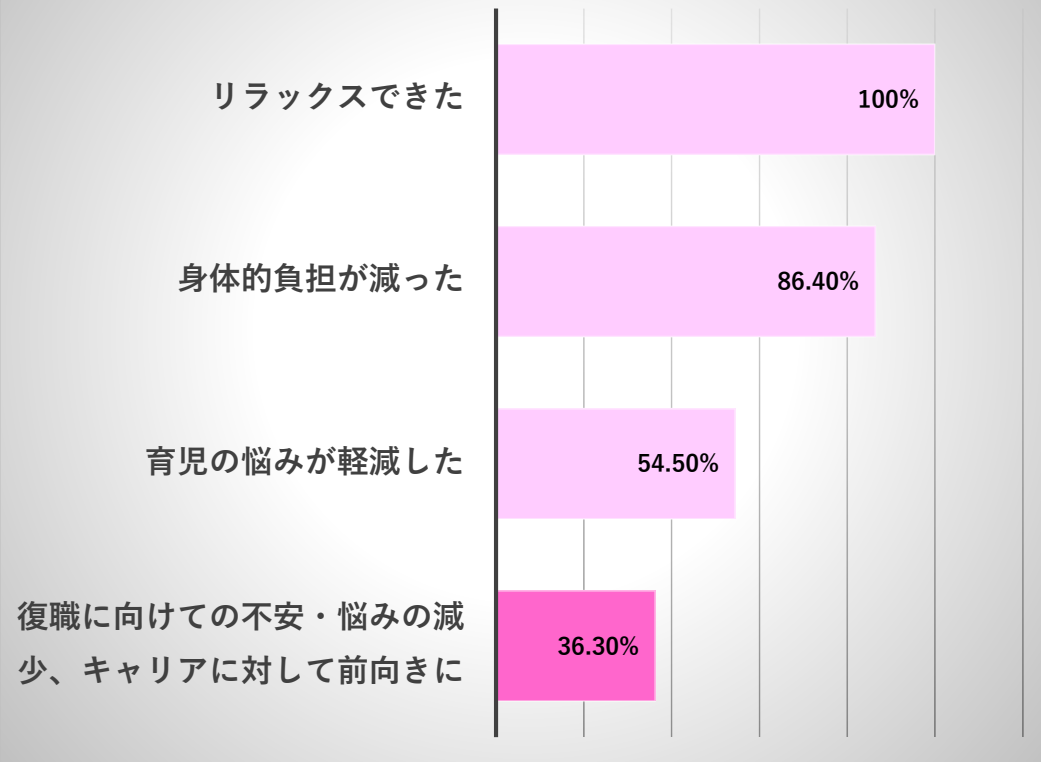
育休中の女性の心身リカバリーに対して、
リアルで実施する産後ケアは非常に有効であることが客観的な測定結果からも明らかになった



成果と分析結果【産後デイケア】

産後ケア施設の利用は母体の心身リカバリーや育児への不安解消だけの効果だけでなく、職場復帰に向けたサポートに繋がることも明らかになった

〈産後デイケアを通して、感じた変化〉



効果①母体のケア（心身ケア）

「産後初めてこんなにゆっくり過ごすことが出来た。」
「肩こりや腰痛などの対処法を聞いてよかった」
「親に見てもらうことはあったが助産師さんにみてもらえると安心して休むことが出来た」

効果②育児の不安解消

「普段二人っきりなので、他の子どもと接することが出来て良かった」
「他の育児をしてる人と話せて、情報共有出来て良かった」
「同じ環境の母同志で悩みなど話せてうれしかった」

効果③職場復帰に向けたサポート

「ほかのママたちとも情報交換ができたり、保育士さんのアドバイスも受けれて、今後預けるのが安心になった」
「復職や、保育園入園に向けて、やらないといけない事務業が集中して出来て良かった」
「他の利用者の方と職場復帰などの不安について話すことが出来て良かった」

会社への愛着・将来のキャリアに関しての質問に対して、産後デイケア後は得点が有意に増加した

成果と分析結果【オンラインカウンセリング】

育休中の女性の心身リカバリーに対して、
オンラインで実施するカウンセリングは有効であることが客観的な測定結果からも明らかになった



成果と分析結果【オンラインカウンセリング】

育休中女性のオンラインカウンセリングの利用は子育てへの不安解消の効果だけでなく、
職場復帰に向けたサポートに繋がることも明らかになった

〈カウンセリングを通して、感じた変化〉

モヤモヤが晴れた

75%

育児の悩みが軽減した

44%

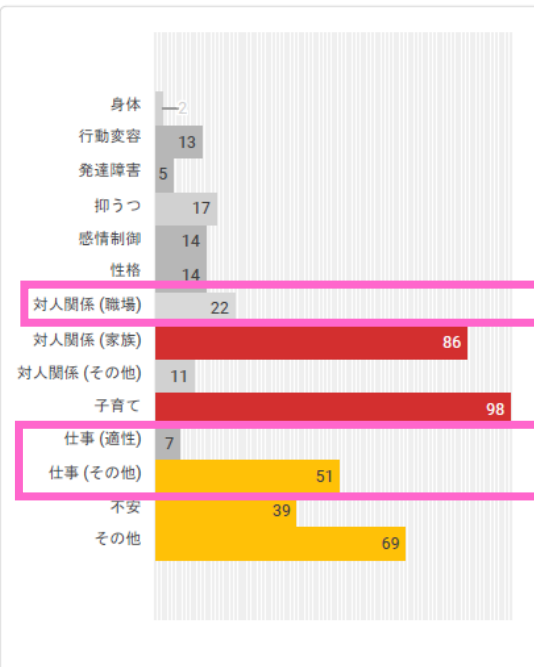
復職に向けての不安・悩みの減少、
キャリアに対して前向きに

48%

【カウンセリングの相談内容】

TOP1位：子育て（98件）
TOP2位：家族関係（85件）
TOP3位：仕事関係（80件）

〈相談内容〉



【カウンセリング後の変容】

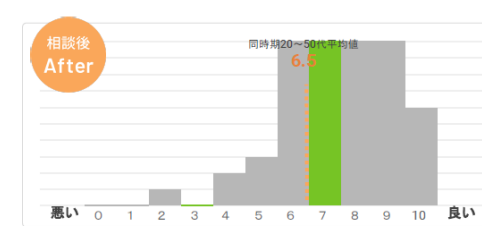
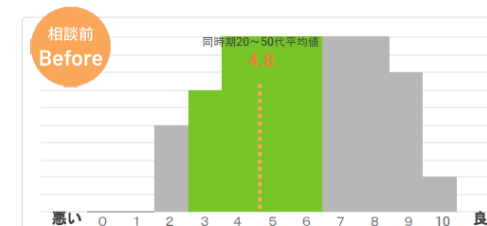
カウンセリングで肯定してもらえたことで、
復帰準備に向けて前向きな姿勢になっている

復職に向けた悩みがスッキリし、復帰までの時間を積極的に捉えられるようになっている

仕事復帰への不安を持ちつつも、カウンセリングをすることによって解消できると感じられており、1つの支えになっている

【カウンセリング後の調子の変化】

相談前と相談後の変化が
同時期の平均値に比べ、改善幅が大きい結果に



会社への愛着・将来のキャリアに関する質問に対して、
カウンセリング後は得点が有意に増加した

n=75（オンラインカウンセリング実施&事後アンケート回答者）

緑色：実証参加者のボリュームゾーン

成果と分析結果【mamaniereでの心身分析】

今の自分の状況を定期的に知ることは、
産後女性の心身状況を健やかに保つ有効な手段であることが示唆された

【分析回数でのCVRR値の変化】

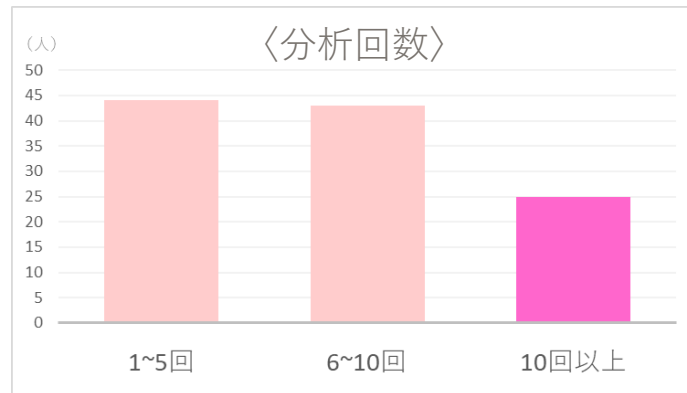
【分析実施回数】

今回の実証対象者で
分析実施者

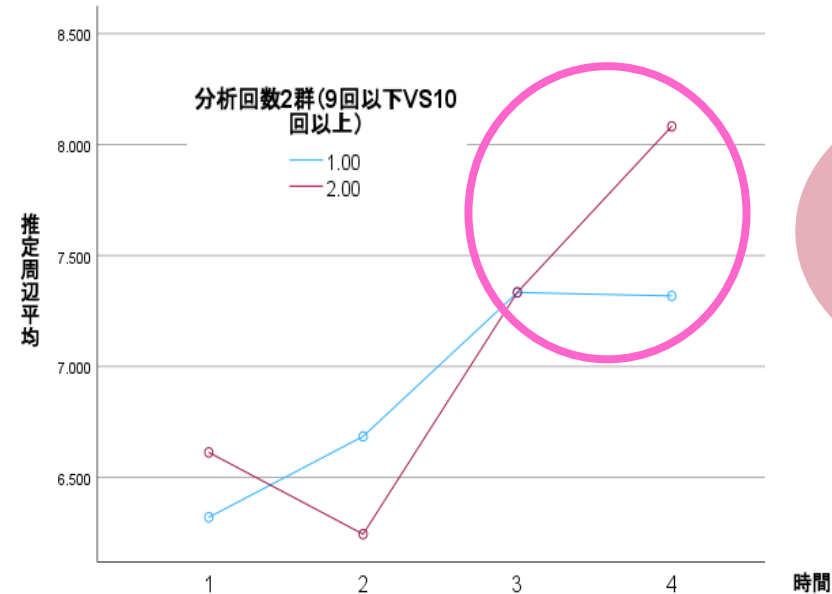
期間
2023年9月20日～2024年1月10日

112名

879回
分析



※10回以上分析しているユーザーが
22%も。最多は28回実施。



分析回数が多い方が
自律神経の活力
(CVRR値)の
上昇幅が大きい

【mamaniereでの分析を通しての声】

「産後はつい頑張りすぎてしまうので、数値でアクティブパワーを見ることによって、休むことを意識できた。」

「私は産後や育児の辛さを自覚できず、効率的に休むことができない、人に助けを求めることができないもどかしさがありました。ママニエールではストレス度を数値化することで、自分の体調を把握することができ、自身の休むべきタイミングがわかる画期的な素晴らしいアプリであると思いました。」

「アクティブパワーのチェックをすることで、自分が疲れているか俯瞰的に見れて休むきっかけになりました。」

- ①育休中の女性の心身ケアに対して、リアルで実施する産後ケア、オンラインカウンセリングともに有効であり、また、両方とも復職に向けたサポートに繋がることが示唆された。
- ②リアルで実施される産後ケアに関しては、物理的な支援が実施できるため、産後の母体のケアに特に有効であり、オンラインカウンセリングに関しては、家にいながら、現在の悩みを解消できるメリットがあるため、ユーザーの置かれている環境や悩みにあわせて、適切な手段を選択し、自分に必要なケアを受けることが大切である。
- ③今の自分の心身状況を定期的に知ることは、産後女性の心身状況を健やかに保つ有効な手段である。



育休中の女性社員の心身ケア・職場復帰へのサポートに産後ケアは大きく寄与

育休中の女性社員の心身ケア・職場復帰へのサポートに産後ケアは大きく寄与

現在、産後女性の85%が育休中ということを踏まえると、
産後ケアの位置づけを既存の「出産後の母子のケア」から、
「出産後の母子のケア」＋「母子生活から社会への復帰への架け橋」へとアップデートし、
育休中社員のキャリア支援の1つとして捉えなおしていく必要性がある

※現在の産後ケア
＝産後4か月までの支援が多い

出産

出産後の
母子のケア

母子生活から社会への復帰への架け橋
職場復帰へのサポート

育休復帰

まずは出産を経験した母体の心身の不調を整えることをベースに、
復職に向けた物理的支援・精神的サポート（不安の除去）を実施していくことが必要

また産後の経過月や復職までの期間によっても、その時に必要なサポートは違うため、
それぞれの状況（心身的健康状態含め）に合わせ、その方に合わせた産後ケアを提案していくことが必要

ママニエールでは、産後の時期・復職時期・その時の心身状況の把握ができるため、
育休期間の時期に、それぞれの状況に合わせた最適なケアを提案が可能
→育休中社員への復職に向けたサポートとして活用いただけるのではないか？

今後の予定

提案

現在、産後ケアはニーズはあるものの、費用が高いものが多く、多くの育休中女性が使用への大きなハードルを感じているため、育休中の女性社員の心身ケア・職場復帰へのサポートとして、企業が産後ケアを導入する形が望ましいのでは？



現状

フェムテックを活用した女性従業員の活躍を支援する福利厚生は増えているが「月経・妊活・更年期」というシーンをサポートするサービスが多く、女性のキャリアが大きく変化する（離職の原因にもなる）産後に対してのサポートは不足している



今後の予定

ママニエールは、現在不足している産後のサポートを実施することで、産後のQOL向上とともに、復職に向けたキャリア支援・復帰へのサポートを担えるように福利厚生モデルとしてビジネスモデルを確立していきたい

+

分析データを活用した、より深い産後女性の心身状態の研究を実施し、ママニエールで取得できたデータを世の中に還元していきたい

※2024年春 日本母性衛生医師学会 抄録提出 →2024年秋 学会発表予定（同志社女子大学看護学部 教授 眞鍋えみ子、准教授 木村静、和泉美枝）

〈補足〉 実証中のメディア露出に関して

ママニエールが取り組むテーマと、独自のテクノロジーでの課題解決の視点が多くのメディア、団体から興味関心を高くもってもらい、多くの露出につながった

BabyTech(R) Awards 2023
「妊活と妊娠部門」大賞受賞
(10/31)

日経ニュースプラス9の
フェムテック特集にて、紹介
(8/24)

世界最大級のフェムテックフェス
「日本におけるフェムテック市場の今」
にて登壇 (2/9)



<https://www.pola.co.jp/about/news/20231031-01/index.html>

※優れた子育てIT商品、サービス、
育児家電を表彰するコンテスト「BabyTech(R) Awards 2023」



https://txbiz.tv-tokyo.co.jp/nkplus/feature/post_280725



14:30-16:00

勉強会「日本におけるフェムテック市場の今」

日本フェムテック市場の発展を支える主要団体であり、Femtech Fes!実行委員会の一員でもあるFemtech Community Japanと一般社団法人メディカル・フェムテック・コンソーシアム、そして数多くの国内フェムテック企業とものづくりを行っている株式会社大広が、日本におけるフェムテック市場や企業のフェムテック事業への取り組みの現状について語ります。フェムテックプロダクトを開発する際の法規制関連の留意点についてもご紹介する予定です。市場動向を把握し、日本の新たなイノベーションを模索する機会としてご利用ください。



堀川 朋子
一般社団法人Femtech Community Japan
代表理事



平野 陽子
株式会社大広
「大広フェムテック・フェムテック・フェムテック・フェムテック」
エグゼクティブ



馬場 喜美子
株式会社大広
「mamaniere (ママニエール)」事業責任者



大和 亮介
大和シルフィード株式会社 代表取締役社長
株式会社湘南ベルマーレ 取締役副社長

<https://hellofermata.com/pages/femtechfes2402-detail>